

アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のための研究フォーラム国際会議

「無形文化遺産保護研究の新領域」

2025年2月13日～15日 | 大阪

於：国立民族学博物館 本館2階 第5セミナー室

プログラム

1日目：2025年2月13日（木）	
10:00	開場、受付開始
10:30-	開会式
10:45	開会の挨拶 町田 大輔 アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長 山下 信一郎 文化庁文化財鑑査官 歓迎の挨拶 福岡 正太 国立民族学博物館副館長
10:45-	基調講演 1
11:35	2003年条約の将来にとってなぜ研究が重要なのか 大日向 史子 無形文化遺産保護条約事務局長 兼 ユネスコ文化セクター 無形文化遺産課長
11:35-	セッション 1：無形文化遺産の継承と教授法
12:15	マカオ特別行政区の教育機関および地域社会における無形文化遺産推進戦略の効果評価 チェン・タック・チャン マカオ観光大学 国際法と先住民の無形文化遺産保護：英語文化圏外の視点から アイラ・アルヴェス 南オーストラリア大学
12:15-	昼食
13:15	
13:15-	セッション 1：無形文化遺産の継承と教授法（続き）
14:35	永続する教授法：どの保存法が現在の無形文化遺産の実践を妨げるのか？ ロバート・ラザルス メルボルン大学 パキスタン・バロチスタンにおける無形文化遺産の実践と振興におけるジェンダーの役割 ダウッド・シャー・タリーン パキスタン・バロチスタン政府文化観光省 モデレーター 石村 智 東京文化財研究所
14:35-	休憩
14:45	
14:45-	セッション 2：コミュニティのエンパワーメントと包摂性
16:45	祭りの品々と工芸品の社会的側面：ランプーンの公共芸術の共創 ジャトウロン・ポカラッシリ チェンマイ大学 食料安全保障を超えて：テドゥライ族とランバンギアン族のスラガッドシステムにおける 場所、アイデンティティ、遺産の再構築 メリー・ジェーン・ロドリゲス フィリピン大学ディリマン校 「信仰観光」の考察：フィリピンの経験におけるハイブリッドな社会的実践とコミュニティ カルロス・タテル フィリピン大学ディリマン校

	<p>南アジアの無形文化遺産の近年の記載案件への評価: 「コミュニティ」と「包摂性」の概念に関する混乱</p> <p>ニール・カマル・チャパガイン アフマダーバード大学 遺産管理センター モデレーター リツ・セチ クラフト・リバイバル・トラスト</p>
2日目: 2025年2月14日 (金)	
10:00	開場、受付開始
10:15-11:05	<p>基調講演 2</p> <p>無形文化遺産は何に対して保護されているのか。現在の政策と実践における優先順位の転換</p> <p>ミシェル・ステファノ 米国議会図書館アメリカ民俗センター 民俗学スペシャリスト</p>
11:05-12:35	<p>セッション 3: 移住と難民化</p> <p>世を超えた移民/ディアスポラとアイデンティティの変容: 海外に住むバングラデシュ人の無形文化遺産の変化と継続性</p> <p>サイファー・ラシッド ダッカ大学</p> <p>バングラデシュにおける伝統文化の移動と実践の継続性: ロヒンギャ難民の音楽と文化の文脈</p> <p>モハマド・シャリフル・イスラム・サイモン・ザカリヤ バングラ・アカデミー</p> <p>難民の無形文化遺産の保護とより平等な社会の実現</p> <p>アル・シャラー・シャリーン ニューサウスウェールズ大学 モデレーター 飯田 卓 国立民族学博物館</p>
12:35-13:35	昼食
13:35-15:15	<p>若手研究者の特別セッション</p> <p>テレン・リアにおけるスラン: 南ジャワ南部海岸での資本主義的發展における伝統と変容の偏移</p> <p>クリスティーナ・コツマノヴァ クリスマン・サティヤ・ワチャナ大学</p> <p>フィリピン・ベンゲット州における地方自治体担当部局間での無形文化遺産の被災評価の統合程度評価</p> <p>アブナー・オマギン・ラワゲン ベンゲット州政府</p> <p>チャムリン・ライ・コミュニティにおける若者の移住と先住民チュワ文化: 課題と今後の方向性</p> <p>ライ・ディパ インディペンデント・リサーチャー</p> <p>持続可能性における無形文化遺産: インド・ジャールカンドの食物遺産を通じた生態系と文化理解</p> <p>ジョティ・シュクラ インディペンデント・リサーチャー</p>
15:15-15:25	休憩
15:25-16:50	<p>若手研究者の特別セッション (続き)</p> <p>先住民文化保護におけるマオリ文化主権</p> <p>土井冬樹 天理大学</p> <p>無形文化遺産保護のための地域博物館事業への住民参加: ベトナム・ムノン陶芸の事例研究</p> <p>ズオン・ハ・ティ ブリストル大学</p> <p>ジュジュラン: あいまいな境界と文化のつながり</p> <p>プジ・ハストゥティ インドネシア国立研究革新庁 人口研究センター モデレーター ハナフィ・フシン マラヤ大学</p> <p>ジャネット・ブレイク シャヒド・ベヘシュティ大学 ソレダド・ダリセイ フィリピン大学ディリマン校</p>

3日目：2025年2月15日（土）	
10:00	開場、受付開始
10:15– 11:05	基調講演 3 無形文化遺産の経済的側面：概念、課題と機会について ハリエット・ディーコン データサイエンス・AI・モデリング卓越センター講師 兼 ハル大学ウィルバーフォース研究所 研究員
11:05– 12:35	セッション 4：無形文化遺産と持続可能な開発目標への法的枠組み 無形文化遺産、知的財産とマーケティング戦略 ベネデッタ・ウベルタッジ スタジオ・ウベルタッジ/ミラノ・ピッコカ大学 水中の生きている遺産と深海鉱採掘 ルーカス・リクシンスキー ニューサウスウェールズ大学 隠れた戦線：戦時における無形文化遺産 ディオゴ・マチャード ニューサウスウェールズ大学 モデレーター ベネデッタ・ウベルタッジ
12:35– 13:35	Lunch 昼食
13:35– 15:05	セッション 5：無形文化遺産とニューテクノロジー ウズベキスタンの豊かな遺産を守る：デジタル時代におけるブハラ地方の伝統刺繍の保護 メフリニゴル・バホディロヴナ・アフメドヴァ ブハラ州立大学 コミュニティと技術が会うとき：ニワ族の技術を通じた言語保護のための探求 モナリザ・マハルジャン ハイデルベルク大学 南アジア研究所カトマンズ事務所 デジタル化された文化遺産保護の強化と実現：digitalpasifik.org プロジェクトからの考察 ティモシー・コン ニュージーランド国立図書館 デジタルエクスペリエンス部門 モデレーター タリシ・ブニディオ カルフォルニア州立大学ロサンゼルス校
15:05– 15:55	総合討論 モデレーター クリストファー・バラード オーストラリア国立大学 野嶋 洋子 アジア太平洋無形文化遺産研究センター (IRCI)
15:55– 16:00	閉会式 閉会の挨拶 町田 大輔 アジア太平洋無形文化遺産研究センター 所長